

新技術・情報名	シクラメンの底面給水栽培における良品生産技術	推進部会名	野菜・花き
実施場所	三重県農業技術センター	分類	①

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

シクラメンのかん水省力化のための底面給水方式導入における高品質生産の体系化技術である。

(1) 培養土は、物理性からみて液相率が高いと軟弱徒長傾向に生育し、品質低下を招くことから、比較的気相率の高い用土が適し、液相率35%、気相率45~50% (pF1.0時)を目安として作成するのが望ましい。(データ省略)

(2) 施肥は、省力のため緩効性肥料の元肥施用が好ましく、5号鉢当たり、ロング180タイプ(14-12-14)7.5gまたは、IBワンス(12-6-6)10g施用が順調な生育を示し、また出荷後の肥効期間からみて適量である。

(3) 定植後の遮光法は、従来50~60%の遮光が行われているが、底面給水の場合、草姿の徒長防止による品質向上のため30%程度が望ましい。

(4) 底面給水での徒長しやすい品種の導入では、矮化剤の利用が有効で、7月上旬と8月下旬の2回散布で草姿のバランスの優れた高品質なものが期待できる。

2) 技術・情報の適用効果

(1) シクラメンの底面給水方式の導入により、かん水の省力化を図ることが可能で、一戸当たりの栽培規模の拡大ができる。

(2) これらの体系化技術の確立から、手かん水栽培と同等以上の均一な高品質生産と可能とし、鉢花生産の経営安定化が図れる。

3) 適用範囲 シクラメン生産農家

4) 普及指導上の留意点

(1) 底面給水栽培では、出荷前に手かん水に切りかえ順化させてから出荷するのが良い。

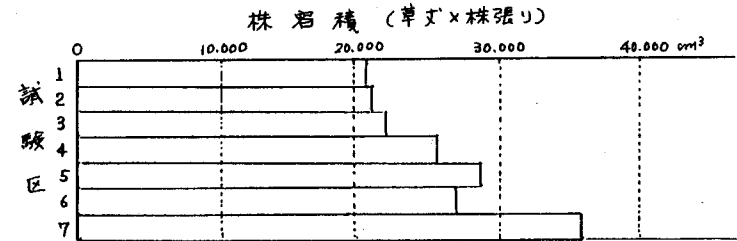
2. 具体的データ (図表)

第1表. シクラメン底面給水肥料試験調査結果 (1987. 12. 16)

試験区	単丈 cm	株張りcm		葉数	葉重g	pH	EC ms/cm
		長	短				
IBS1号(5+2.5)g	14.3	36.3	34.5	97.5	185.8	6.65	0.123
IBワンス 5g(14)	15.0	38.3	25.8	89.3	209.5	6.70	0.096
IBワンス 10g(25)	15.3	39.8	38.5	98.0	240.3	6.58	0.131
ロング180タイプ7.5g	16.0	40.8	39.8	101.0	261.8	6.02	0.125

第2表. シクラメン底面給水遮光試験調査結果 (1986. 12. 23)

試験区	単丈 cm	株張りcm		最大葉cm		葉数	葉重g
		長	短	長径	短径葉柄長		
無遮光区	13.4	32.2	28.4	8.6	8.3	9.6	109.2
30%遮光区	16.0	35.8	32.6	10.0	8.8	11.9	99.8
45%遮光区	16.6	37.2	34.6	8.6	8.0	13.4	117.2
60%遮光区	16.8	40.4	35.8	9.1	8.1	13.9	115.4



第1図. シクラメン底面給水矮化剤利用試験株若積比較 (1982. 12)

試験区: (矮化剤倍率 - 第1回処理日 - 第2回処理日) 1区(200-7/6-8/20), 2区(300-7/6-8/20), 3区(200-7/7-9/3), 4区(300-7/7-9/3), 5区(200-7/8-9/21), 6区(300-7/8-9/21), 7区(無処理)

3. その他特記事項

- (1) 浄水場産土壌キーキの鉢物培土への有効利用. 昭59~61. 県単
- (2) 鉢物の品質向上技術の確立. 昭58~60. 県単
- (3) 鉢物の大規模経営における高位生産技術. 昭62~64. 県単